



みさきっ子 第16号



平成30年12月25日(火)
【喜屋武小学校学校だより】

糸満市字喜屋武555番地
TEL : (098) 997-2298

【募金ぞうてい式】(12月5日・水)

児童会を中心に、10月24日から取り組んできた、赤い羽根共同募金の贈呈式を行いました。当日は糸満市社会福祉協議会：玉城 満さんが来校、みさきっ子の気持ちを託しました。「人のために役立てて欲しい」等の子ども達の優しさ・思いやりの心に初心にかえりました。の伝言がありました。



【ふれあい週間】(11月16日・金)

月の第2週目を「ふれあい週間」に設定し、高学年をリーダーに大縄跳びに挑戦しました。



グループで縄の廻し方・かけ声等を工夫し、最終日には「何回跳べるようになったか」記録会も実施しました。

3学期は、どんな種目にチャレンジするのか楽しみです。(1年生も上手に跳べるようになりました。)

【3学期に向けて：みさきっ子の学び合い】

学校教育では「読み書き・計算」ができるだけではなく

(1)なぜ、そのように解いたのか。

自分の思いや解決方法を説明できる子が求められています。(「思考力・判断力・表現力」が重視されるようになってきました。)問題や課題に対して、自分の考えを説明できる子友だちと学び合う中で「分かる喜び」を味わえられる子の育成を目指しています。

(2)生活の中で実際に活用できる。

子ども達は、学んだことを生活の中で活かすことによって、深く理解されていきます。「学ぶ喜び」が蓄積されて、生きて働く学力に結びついていきます。

3学期は、各学年の学力の定着をめざして

みさきっ子は、授業に向かう姿勢が上向きになってきましたが、上記にまだまだ個人差が見られます。

学校では、3学期は学力の定着に向けて、更なる授業改善・補習等に力を入れ、取り組んで行く予定です。

保護者の皆様にも、下記のご協力をお願いします。

授業参観日は、ぜひ教室の中での参観を通して

○我が子の「学び方・ノートのとり方・発言・学び合い」等を参観してください。

ご家庭でも、親子の会話や家庭学習を通して

○なぜ、「そのように思ったのか。そのように考えたのか。」等、顔を見て、数多い具体的な会話をしてください。



[上段は、1・2・3年生]

[下段は、4・5・6年生]

【教材園の耕作&肥料入れ&ジャガイモの植え付け】



国吉 武光さん(学校評議員)が、トラクターを使って教材園の耕しを2回実施してくれました。また、牛糞の寄贈もあり、各学年が植え付けに取り組みました。最初に植えた3年生のジャガイモは芽を出しつつあります。ありがとうございました。



2年生は、山城博之真さんのおばあちゃんから、ニラ・ハルダマ等の苗が届き、ジャガイモと一緒に植え付けました。

地域のみなさまの学校に対するご協力に感謝します。

【今年も「みさきっ子」に寄付金】

○人材育成資金として・・・19,000円

NPO三和人材育成会

【会長：金城 佳隆 さん(元三和中校長)】

・三和中校区出身者で人材育成に賛同した方々の会

(講師料や漢字検定の問題集等購入として活用予定)

○図書購入費として・・・5万円

系数 修一 さん

【三柱有限会社代表取締役】

・喜屋武出身で現在は石垣市在住

妹の栄盛祐子さんが届けてくれました

【学級保護者会】(12月5日・水)

「2学期の教育活動や冬季休業中の生活について話し合う」

「3学期の協力・連携の強化を図る」をねらいに、保護者会を行いました。学年によって参加人数の増減がありましたが、いい話し合いができたこと、担任から連絡がありました。糸満市教育の日も多くのご参加・励ましをお願いします。



[1年生の教室]



[2年生の教室]



[3年生の教室]



[4年生の教室]



[5年生の教室]



[6年生の教室]

NPO法人
三和人材育成会

理念
三和地域の青少年を「健やかに・強く・元気に」育みます

三和人材育成会は
三和地域の出身者や有志によるボランティア団体です
平成25年6月にNPO法人の認定を受けました
三和地域の青少年を支援し、沖縄や日本、世界で活躍できる人材を育成するのが目的です
会員の収める会費と有志の寄付金等で会活動を実施しています
「人材育成は一朝一夕でできない」との理念で
大人たちの身の長い地道な取り組みが必要だと考えています
地域一帯となって若者の夢を育み豊かな人材を育てよう